

No.114 2020. 3. 15 ^{あおじゅかい} 会報「青樹会」 会報事務局 〒331 - 0825

中国内蒙古沙丘・草原緑化研究会 さいたま市北区櫛引町 2-574-2 GA 大宮 111 号
代表 押田 敏 雄 押田 敏 雄 方(青樹会事務局長代行)
(Tel & Fax 048 - 664 - 5884)
<http://www5a.biglobe.ne.jp/~aojukai/> e-mail:oshida@azabu-u.ac.jp

1. 「映画鑑賞会」と「新年会」が開催されました

去る1月26日(日)に「映画鑑賞会」+「意見交換会」と「新年会」が開催されました。映画鑑賞会と意見交換会は会場の都合で、「フクラシア東京ステーション 6F 会議室(朝日生命大手町ビル)」で15時から、新年会は「坐・和民 八重洲一丁目店」で18時から、それぞれ開催されました。

今回の映画は中国映画・「僕たちの家に帰ろう」でした。内容は・・・父さんと母さんの今いる場所が、青々と水草生い茂る二人のふるさとなんだ。古代シルクロードの一部としてかつて繁栄した中国北西部“河西回廊(かせいかいろう)”を舞台に、ユグル族の幼い兄弟が離ればなれに暮らす両親のもとへ帰る道中、様々な出会いと別れを経験し成長していく姿を、雄大な自然を背景に優しい眼差しで描いた人間ドラマ!



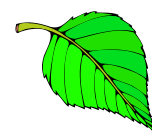
一大国家を築いた歴史を持ちながら、移り変わる時代の波にのまれ今では文字や言葉も廃れてしまった、滅びゆく民族と文化への哀惜。社会を発展させる代償として中国が抱えた環境破壊の問題も、静かだが確かな声で提起した感動作が誕生した!

なお、DVDを押田が所有していますので、ご覧になりたい方は、ご一報下さい。

映画鑑賞会と意見交換会には中村(民)、窪田(定)、窪田(誠)、窪田(恵)、神尾、樋川、石川、野上、金井、押田(明)および押田(敏)の11名が参加され、映画



が終わってからの意見交換会は各自の近況報告、今年の抱負などが披露されました。





押田(敏)から
2019年9月にウーランアオジュ村を訪問し、その時の現状をスライドで説明がなされ(会報 113

号に収録済み)、2020年の春～夏にウーランアオジュ村を訪問しようと言った提案がなされました。何とか、来年の春か夏には現地を再び訪れたいと考えていますが、旅行関係は孟ちゃんの知り合いの中国のエージェントが働いてくれるそうです。



次いで、場所を「坐・和民 八重洲一丁目店」に移動し、新年会が賑やかに行われました。

2. 「新型コロナウイルス感染症」に関連して中国とのやりとり

2月になり「新型コロナウイルス感染症」が突如として台頭、猛威を奮うようになりました。これについて、中国とのやりとりのメールを紹介致します。

<押田から:2月23日付け>

蒋 先生

孟 ちゃん

オヨンゴワ先生

おはようございます。どのタイミングでメールしようかな・・・と考えていました。本来ならば少し前に春節を迎えた時点で、「おめでとうございます」だったと思います。ご承知のように新型肺炎の影響で、いつもとは違った感じです。今日23日は日曜ですが、日本の天皇誕生日(60歳になられました)で、皇居で一般参賀が行なわれる予定でしたが、中止となってしまいました。我が家には98歳の高齢者(女房の母親)がいて心配ですが、仕方ありません。マスクをすれば・・・と言うことで、マスクを求めるヒトで、マスクも欠品騒ぎの渦中です。

1月26日に青樹会の集まりがあり、その場で、昨年9月に村に行ったときの様子を報告しました。本来であれば、春には村に行くつもりで、ツアーも考えていましたが、頓挫しています。SARSの時や、東日本大震災の時のように気持ちが落ち込んでいます。

暖かくなれば、ウイルスの動きも鈍くなり、病気も終息すると思いますが、先が見えません。しかし、明けない夜はありませんので、もう少しの辛抱と思っています。

取り敢えずの近況報告です。村の方々、研究所の先生方、学院の先生方にも近況を伝えて戴ければ幸いです。

押田敏雄

<蔣先生から:2月24日付け>

押田先生

おはようございます。おメールありがとうございます。1月20日から今まで、即ち春節の前後、中国湖北を中心として残酷な冠状ウイルスに感染する肺炎が発生しまして、伝播の速度が速くて、感染された人も多いと聞きました。瀋陽は全国各地と同じように伝染されました。政府の規定によりますと、春節休暇から昨日までは全員は自分の家で隔離され、外に出て活動してはいけません。研究所もずっと休みになりました。だから、私もずっと家で休んでいます。私と家族はすべて無事で健康です。



孟ちゃん オヨンゴワ先生 蔣先生

現在の状態から見れば瀋陽ここで疫病はいよいよ好転していて、感染される人はだんだん少なくなりましたから、あと2週間から3週間ぐらいで、正常な生活に戻るでしょうと感じています。

内モンゴルの疫病も深刻だと聞きましたが、先生のもとの計画に従って今年の春に烏蘭敖都村に来て、砂漠の緑化の事を考察することは、今私はまだ確定していないと思って、これから疫病の影響の状況によって決めると思います。

すべてのことは全部疫病が完全に終るまで待って、落ち着いてから決めましょう。

さて、日本の状況と同じようにここにマスクも非常に不足しています。店でも薬局でも買えません。とりあえずお祝いまで、またよく連絡しましょう。

蔣徳明(中国科学院沈阳应用生态研究所)

<オヨンゴワ先生から:2月27日付け>

押田先生

こんにちは どうもありがとうございました。

コロナは日本にも拡大して大変ですが、くれぐれもどうぞ十分にお気をつけてください。NHKをたまに聞けるが日本にもコロナは拡大していること、皆様のことが気になり、心の中で早くコロナが収まること祈りながら過ごしています。

押田先生は春のツアーは中止にしたかなと想像したりもしていました。押田先生がおしゃる通り、収まる日がきっと来ること信じています。

皆様と草原でお会いできることを願っています。

オヨン

<孟ちゃんから:2月28日付け>

押田先生

お返事ありがとうございます。おかげさまでお元気しております。こちらは先月1ヶ月ぐらい部屋から出さないけど現在平常通りになっています。じゃあ元気で…ありがとうございました！

孟河

3. 「豚につながるイノシシ雑学」

昨年はイノシシ年でした。「月刊・養豚界」という商業誌からの依頼で2019年・亥年特別企画として、同年1月から12月までの12回に亘って連載したものをカラー版にバージョンアップさせて冊子体としました。

12回分の掲載記事は、イノシシに係る広範な部分をカバーしているので、イノシシについて疑問を感じた時にちょっとしたことを調べるために座右に置いてあると便利・安心な一冊(A4版40頁・カラー)と思います。

これを各位に供覧して戴きたく、勝手に会報と一緒に送らせて戴きます。ちなみに送料は会誌のみの場合と同じなので、ご安心を!!

事務局長代行・押田敏雄



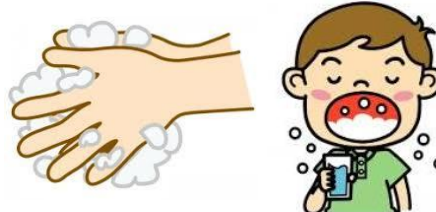
4. 新型コロナウイルス感染予防のために

新型コロナウイルスによる肺炎感染が日本でも確認されています。主な感染経路は現時点では飛沫感染(感染者の咳やくしゃみによる飛沫と一緒に放出されたウイルスを吸い込むことによる感染)、接触感染(感染者からのウイルスが付着した皮膚や、手すりなどの物体の表面を介しての感染)だと考えられています。

高齢者の方は感染症にかかると重症化しやすく、回復に時間がかかることもあります。

日常的に予防を心がけている方も、改めて正しい予防方法を確認し、自身が感染しない、他の人に移さないためにも、所定の手洗いやうがい、咳・くしゃみエチケットを励行しましょう!!

新型コロナウイルスの感染者数は増えていますが、致死率は現在のところ2%程度とされています。必要以上に恐れず、正しい情報を基に行動をしましょう!!



5. 会報の原稿を募集しています

最近、気になること、私の提案、中国情報、その他なんでも原稿をお寄せ下さい。あて先は押田(oshida@azabu-u.ac.jp)へ、メールで戴けると幸いです。なお、メールが困難な場合には fax(048-664-5884)か郵送で(331-0825 さいたま市北区榎引町 2-574-2 GA 大宮 111号)押田敏雄までお願い致します。